

## 令和元年産水稻の出穂状況について（8月8日現在）

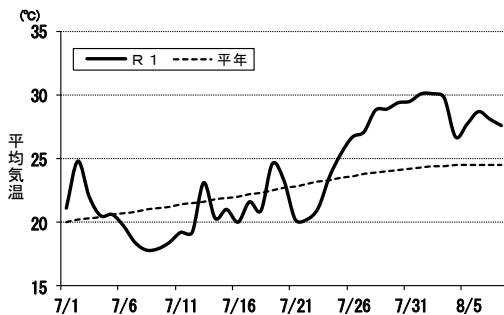
### 1 出穂状況等（概況及び今後の管理）

- 8月8日現在、61,741ha（水稻作付見込面積の96.1%）で出穂が確認され、本年の穂揃期（県作付見込面積の95%で出穂）は平年より3日早い8月7日となった。
- 週間天気予報によると、「最高気温は平年並か平年より高く、最低気温は平年より高く、かなり高い所もある」と見込まれており、稲体の消耗による登熟不良や白未熟粒の発生等により品質低下が懸念されることから、出穂後高温時の水管理としては「昼間深水・夜間落水管理」※、用水の確保が難しい状況においては「走水等により土壌を常に湿潤状態に保つ水管理」を行うよう指導している。  
また、早期落水は登熟不良や品質低下の原因となるので、落水時期は出穂後30日以降を目安とするよう指導している。
- 斑点米カメムシ類の薬剤防除は、「穂揃期」と「その7～10日後」の2回防除を徹底するとともに、出穂時期が早まっていることから防除時期を逃さないよう指導している。
- 台風10号が日本へ接近しており、本県への影響も懸念されることから、最新の気象情報を確認し、排水対策等に留意するよう指導している。

※ 晴天等の高温時において昼間はできるだけ深水とし、夜間は逆に落水管理とする水管理の方法。

### 2 具体的データ

#### (1) 平均気温の推移（仙台アメダス）



#### (2) 旬別の気象データ（仙台アメダス）

	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
		平年差		平年比		平年比
7月 上旬	20.1	-0.5	31.0	51%	22.2	65%
中旬	21.3	-0.7	41.5	61%	24.4	70%
下旬	25.5	1.8	39.0	77%	56.1	112%
7月	22.4	0.2	111.5	62%	102.7	86%
8月1～5日	28.9	4.5	0.0	0%	53.7	213%

#### (3) 地方振興事務所・地域事務所別及び地帯区分別出穂状況

##### ①地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付見込面積(ha)	8月8日現在出穂状況			進行月日			(参考)平成30年度		
		出穂面積(ha)	進行率(%)	出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期	
大河原	6,732	6,249	92.8	7/30	8/1	—	7/25	7/28	8/10	
仙台	12,096	11,583	95.8	7/30	8/2	8/7	7/28	8/1	8/8	
大崎	18,246	17,644	96.7	7/30	8/2	8/7	7/29	8/1	8/8	
栗原	8,978	8,655	96.4	7/31	8/2	8/7	7/27	7/31	8/12	
登米	9,796	9,424	96.2	7/30	8/1	8/5	7/29	7/31	8/6	
石巻	7,501	7,381	98.4	8/1	8/3	8/7	7/29	8/1	8/10	
気仙沼	912	805	88.3	8/2	8/5	—	8/1	8/4	8/11	
県計	64,261	61,741	96.1	7/30	8/2	8/7	7/28	7/31	8/9	

##### ②地帯区分別

地帯区分	水稻作付見込面積(ha)	8月8日現在出穂状況	
		出穂面積(ha)	進行率(%)
山間高冷	967	771	79.7
西部丘陵	5,376	5,029	93.6
北部平坦	42,372	41,085	97.0
南部平坦	5,395	5,147	95.4
三陸沿岸	1,571	1,425	90.7
仙台湾沿岸	8,581	8,284	96.5
県計	64,261	61,741	96.1

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稻作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日である。  
※令和元年作付見込面積は、みやぎ米推進課でとりまとめた主食用米の作付見込面積を用いた。

#### (4) 出穂時期の比較

区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
本年	7月30日	8月2日	8月7日
前年	7月28日	7月31日	8月9日
平年	7月31日	8月3日	8月10日
平年差	1日早い	1日早い	3日早い

※ 平年値は平成21～30年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値を用いた。

※刈取状況は、9月中旬頃からの発表を予定しています。